

実例紹介（新築物件）— 東大阪市N様邸



ヨークベルの地域型住宅ブランド化事業第1号。

N様が新居を構えるのは今回で2度目。これまでお住まいが鉄骨造で結露に悩まされたことから、強度面で安心できる木造住宅をお探しの時にヨークベルとの出会いがありました。それは、国が推し進める地域型住宅ブランド化事業にヨークベルが協議会メンバーとして開発した「北摂地域の家」が採択されたタイミング。LVL（単板積層材）という材料を用いた強靭な木構造が決め手となり、N様の家づくりをお手伝いさせてもらうことになりました。そして、地域型住宅ブランド化事業「北摂地域の家」の第1号が建築されました。



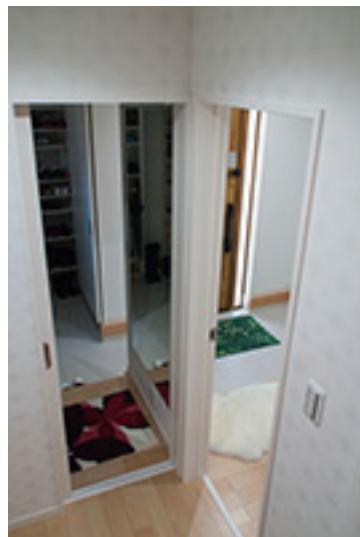
集合住宅かと思わせるほどの、3階建ての堂々とした外観。

集合住宅と見間違えるほどの大規模住宅

N様邸は東大阪の市街地に建つ3階建て住宅。建物の2・3階に南面から東面にかけてバルコニーを回した外観は低層の集合住宅さながらの堂々とした雰囲気です。2・3階が主世帯の住居、1階はご主人のご両親の住居という玄関が2箇所ある分離型の二世帯住宅で延床面積は約100坪。この邸宅の棟上げには、実に4日を費やしたといいます。



内々寸法が130cmもあるワイド階段



玄関はシューズクローケ付き



エレガントな玄関

主世帯の玄関から中にお邪魔すると、先ずよい意味で違和感を覚えたのが2階へと上がる階段です。それは通常住宅で見慣れた半間間口のサイズではなく、間口の内々寸法が130cmほどある広々としたもの。文字通りスケールの違うゆとりを感じます。

2階は主世帯のリビング、ダイニングキッチンそして水廻りです。もちろん、この生活の中心となる空間の広さも半端ではなく、L+DKで36帖を越えます。リビングの全開放サッシを開ければ屋外のバルコニーと一体となり、空間と暮らし方にさらに広がりを生んでいます。

キッチンは2列配置のアイランドタイプで、通路幅にゆとりを持たせ、奥様と娘様が一緒に料理を楽しめるよう設計されています。

インテリアは、白とつややかな素材感を基調とした都会的で豪華な印象。とくにダイニングキッチンの鏡面仕上げの白い天然石床が目を引きます。その他、タイルの割付やクロスの選択など、インテリアの随所にご主人のホテルライクなインテリアへのこだわりが表れています。



18帖以上ある広々リビング。折戸サッシを開放すればバルコニーと一体となりさらに開放的に。



リビングからダイニングキッチンを望む。ダイニングの床は天然石貼り。



バーベキューパーティーが楽しめそうなテラコッタタイルを敷き詰めたバルコニー。 リビングの造り付けの収納。



ガラスの仕切りが都会的な洗面ルーム

使いやすそうな収納庫を備えたキッチン。

本格的なホームジムスペースも作れる強靭な構造躯体

ご家族のプライベートルームが集まる3階に上がった瞬間、その日一番の驚きを感じました。なんと、個室に囲まれたフリースペース中央には大きなサンドバッグ、その他にもトレーニング器具が充実し、本格的なジムになっているのです。N様の中学生と小学生高学年の2人の息子さんは空手の選手で、それぞれ全国大会で好成績を納めるほどの腕前です。その可能性をこれからさらに延ばすため、ご両親は最高の練習環境をご用意されました。

しかし、こうしたジムが実現するのも構造躯体がしっかりしているからこそ。LVLを構造に用いた「北摂地域の家」だから、梁の補強程度で思いっきりサンドバッグが蹴られる練習環境が実現したのです。



2階の2ボウルの洗面化粧台。



3階ファミリースペースは空手の本格的なトレーニングコーナー。



ハンモックも吊るせるバルコニー。

1Fはご主人のご両親が暮らされるスペースです。LDKと和室、寝室、水廻りがワンフロアにレイアウトされ、1箇所のドアで主世帯ともつながっています。また、2階の床を厚さ60mmという極厚構成とすることで、1階に生活音が響かないように配慮されています。



1階は親世帯の居室。バリアフリーにも配慮。



1階親世帯の寝室。

ご主人からは、「次もヨークベルで建てたい」という最高の言葉を頂戴しました。しばらくは満足度100%の住まいの暮らしを楽しんでいただき、次の機会も、また楽しい家づくりをぜひご一緒させてもらわればと願います。



N様 より

お願いしたことにフットワークよく対応いただいたり、生活者目線でのアドバイスをもらったりと、注文住宅を建てていることが実感でき楽しめました。コストパフォーマンスが高く、家の満足度は100%です。ぜひ、次もヨークベルで建てたいと思います。

「東大阪市N様邸」概要

所在地	大阪府東大阪市	構造	木造3階建て
土地面積	210.85m ²	建物本体工事費	非公開
延床面積	357.40m ² (108.14坪)	建築	平成25年11月 竣工